

vol.27

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。このようなスポーツによるまちづくりについて、APRグループ代表取締役の青木康明さんにお話を伺いました。



新たなつながり、広がる絆 仲間と創る“すすきの”の未来

株式会社APRグループ 代表取締役 青木康明 さん

1987年生まれ、北海道札幌市出身。2013年に入社し(株)APR TRADING設立。2021年にAPRグループ代表取締役社長に就任。ミッションは「すすきのの愉しいを、未来へつなぐ」。現在グループ7社で8事業34店舗を経営する。

マラソンでスポーツの魅力を再認識
完走後の一杯も楽しみのひとつ

2022年頃から同年代の経営者仲間が主催するマラソンサークル「GRAMARA部」に参加するようになり、以来マラソンにどっぷりとハマっています。小学校から大学まで長くサッカーを続けていましたが、実は走ることはずっと苦手意識が強かったんです。でもGRAMARA部は「楽しむこと」を第一に、制限時間ギリギリの完走を目指すスタイル。ゴール後の温泉や打ち上げがメインなのも僕に向いていました(笑)。同じゴールを目指し、仲間と励まし合い喜びを分かち合うことで、スポーツの持つ魅力を再認識しました。

小さな一歩から広がる大きな可能性
誰もが楽しめる「新しいすすきの」へ

昨年からのすすきのの飲食店仲間と始めた街の清掃活動にも、同様の喜びを感じています。実は今、すすきのの街は再開発やインパウンドの影響で、大きく変貌を遂げようとしている最中。日中にはファミリー層や学生の姿も増え、街のイメージ向上や人流の活性化が求められています。清掃活動は変革のためのほんの小さな一歩ですが、多くの方々にご賛同いただき、着実に広がりを見せています。スポーツや地域活動で得た絆や新たなつながりが、これからのまちづくりにも役立つものと確信しています。すすきのという街は、多くの人にとって日々の活力を得られる場所であり、新たな可能性を育む土壌です。これからも多様な人々が集い、笑顔があふれる街であり続けるよう、仲間たちと力を合わせ、その発展に貢献していきたいです。

いい人、いい街

#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに
金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中

公式
Instagram /

APR GROUP
「すすきの」の愉しいを、未来へつなぐ。

APRグループは飲食店の運営のほか、不動産事業、人材派遣業など多岐にわたる札幌のまちの活性化に努めています。

公式HP /

